

大船渡市立赤崎小学校

2014年 10月 2日

大西 歩実(香川大学 教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学 教育学部)

【文献】

- (1) 「saveMLAK」博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の被災・救援情報 <http://savemlak.jp/wiki/saveMLAK>
- (2) 「岩手の学校状況」三重県教育文化会館 http://www.mie-kyobun.or.jp/culture/report_01/report_03.html

【場所】

大船渡湾から200mほどの位置にある。
住所:岩手県大船渡市赤崎町生形59-2
※現在は姉ノ浦小学校を間借りして再開。

【東日本大震災による被害】

津波により校舎は全壊。(1)



【震災当日の様子】

地震発生後、校舎の向かいにある高台の公民館へ児童は避難した。公民館の建物の前まで水がきたので、さらにその屋上まで避難した。(2)

【調査して言えること】

学校の標高は3mほどで、海の近い学校である。海と学校の間には赤崎保育園があり、保育園の建つ場所は少し高くなっている土地であるため、学校から海を直接見ることは難しい。また、児童の避難した公民館は、保育園の近くにある。

避難先の公民館は標高10mほどで、津波を想定した避難先としては十分な高さがあるとは言えない。また、学校から避難する際、公民館の方が海に近いため、必ず安全に避難できる場所とは言えない。学校の敷地のすぐ横にある山に登る方が、学校からの距離も近く、状況に合わせてさらに高い場所に登ることもできるため、安全に避難できたと思われる。



西から見た学校のあった場所と山(2014/3/17撮影)



校庭と学校横の山(2014/3/17撮影)



赤崎保育園と公民館(2014/3/17撮影)

※保育園の園庭は津波で浸水している。